



# 飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日  
 ガバナー 芳賀 裕  
 ガバナー補佐 西川 博 美  
 会長 千葉 政 行  
 幹事 石川 邦 俊

- 1.人々が手を取り合うのを促そう。
  - 2.行動しよう。
  - 3.ロータリー賞へ全クラブで挑戦しよう。
  - 4.あの時(2011年3月)、これまで、そして未来を考えよう。
- 「復興フォーラム(仮称)への支援と協力」

[ロータリー特別月間]  
 2月は平和構築と紛争予防月間

2019 - 2020 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋  
 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)543-1433  
 シンクスター・ロータリークラブ (アメリカ・アラバマ州)

世界理解と平和週間(2月23日から3月1日)

通 算

## 第29回 [2996] 例会報告 令和2年(2020)2月6日(木)

出席委員会報告

会員総数	40名
出席会員	26名
欠席会員	14名
出席率	65%

例会場変更【伊勢屋】

◆開会点鐘 千葉政行 会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング【奉仕の理想】 服部裕一 会員

◆四つのテストの唱和 渡辺達也 職業奉仕委員長

### ◆お客様紹介

☀️ スティーブ寺田 様 ☀️ 鈴木美恵子 様 福島グローバルRC【職業分類：翻訳業、通訳、英語教育】  
 ☀️ 2018(平成30年)学年ロータリー米山記念奨学生 レー クエン ダットさん ☀️ 安齋さと子 様

【2月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪  
 2月15日 小笠原香織様(尚史会員) 2月18日 佐藤恭子様(喜市郎会員) 2月21日 油井貴子様(明則会員)

♪ 今週の誕生日 ♪♪♪♪♪ 2月7日 紺野容樹 会員 ♪♪♪♪♪

### lunch time



◆会長あいさつ 今日は久々に昔の例会場に戻ってまいりました。昔からいらっしゃる方は懐かしさでいっぱいだと思います。昨日、知事懇談会がありまして、福島の復興と風評被害や少子化についてお話があり、まだまだ復興にはほど遠いという気がしております。今年には講演会を聞く機会が多く、仙台で花巻東の佐々木監督のお話をお聞きしました。監督は花巻の子供たちだけで、甲子園で優勝するというテーマを掲げており、必ず東北に優勝旗を持ってくるというお話でした。目標、夢を実現するために、全てを犠牲にしてでも向かっていくという執念がすごいと思いました。菊池桃子さんのお話も素晴らしい講演でした。先日、第二分区会長幹事会があり、新会員セミナーは4月4日に、親睦ゴルフコンペは4月19日に行われます。ロータリー賞のインプットはまだですが、頑張って取りたいと思います。

### ◆副幹事報告

齋藤孝裕 幹事

A. 月信 「ロータリーの友」 2月号 「ガバナー月信」 2月号 No.8  
 B. 来信

①ガバナー 芳賀 裕 氏より

「RLIパートI修了証」  
 菅野浩司 会長エレクト、齋藤孝裕 副幹事  
 「第40回RYLA(ライラ)研修会の案内」  
 と き 3月7日(土)～8日(日)  
 と ころ 岳温泉 光雲閣

②ロータリーの友事務所より

「2020-21年度版 ロータリー手帳の注文について」

③川俣ロータリークラブより

「県北第二分区次期幹事セミナーの案内」  
 と き 4月15日(水) 16:00～  
 と ころ 割烹 新川

### C. メーキャップ報告

1/21 福島北RC  
 1/25 地区ロータリー・リーダーシップ研修会  
 1/28 白河RC  
 2/1 SNS勉強会、地区行事  
 2/4 県北第二分区会長・幹事会

千葉政行、石川邦俊 各会員  
 菅野浩司、齋藤孝裕 各会員  
 佐藤喜市郎 会員  
 菅野浩司、佐藤喜市郎、佐藤真也 各会員  
 千葉政行、齋藤孝裕 各会員

### ◆ロータリー・リーダーシップ研修会(RLI)の報告 菅野浩司 会長エレクト

先日のRLIに齋藤孝裕副幹事と参加してまいりました。1単位50分、各テーマでグループディスカッションを行い、1日6時限受けてまいりました。また、2月1日はSNS勉強会に参加してまいりました。講師は福島RCの熊坂さんで、発信の事例と効果ということで講演がありました。熊坂さんは「SNSはクラブでやるようなものではなくて、あくまで個人で発信するものなので、一人一人が発信しないと意味がない」ということと、また、どれだけクラブの魅力伝えていくかということをお話いただきました。以上、ご報告いたします。



RLIパートI修了証伝達



### 【新会員挨拶 渡辺哲也 会員】紹介者：安齋忠作 会員

この度は、千葉会長はじめ会員の皆様のご理解をいただきまして、加入させていただくことになりました。宜しくお願いたします。父親がロータリアンで、子供の頃からロータリーが日常にありました。そして、福島民友新聞社時代には27歳から31歳まで、浪江ロータリークラブの会員として会報委員会をやっておりました。サラリーマンを辞めたらロータリーにと心を決めており、選挙が終わった後に安齋会員に相談し入会となりました。政治活動中や選挙期間中も飯坂の方々に惹かれて、そういう思いがありました。ロータリアンとして恥ずかしくない活動をしてまいりますので、今後ともご指導のほど宜しくお願いいたします。

「四つのテスト」、バッチの贈呈



**【近況報告】** 皆さん、こんにちは。先週会ったばかりですが、今回は例会に参加させていただきました。ありがとうございます。ここで毎月例会があって、近況報告することで、自分の小さな卓話だと思っており、最後まで少しずつ上手になってきたかなと思います。話の内容や伝え方など、今まで行ってきた分よりも比べ物にならないと反省しています。しかし、例会の体験を通して、より学んでいくことを心がけるようになって、今後の仕事に生かそうと思いました。本当にありがとうございました。

◆スマイリングBOX 堀切孝敏 副委員長 【合計3-23】

福島グローバルRC 鈴木美恵子 様 2,000円 飯坂ロータリークラブへ訪問させていただいて  
 佐藤喜市郎会員 H スティープ寺田様、鈴木美恵子様をお迎えして 渡辺哲也様の入会を祝って  
 安斎 忠作会員 H スティープ寺田様、鈴木美恵子様をお迎えして 渡辺哲也氏の入会を祝って  
 吾妻 一夫会員 H スティープ寺田さんをお迎えして  
 千葉 政行会員 S スティープ寺田様、鈴木美恵子様をお迎えして 前回欠席おわび  
 齋藤 孝裕会員 S スティープ寺田様、鈴木美恵子様、本日はおいでいただきましてありがとうございます。



◆ ゲストスピーチ 「福島の風評被害と戦う」スティープ寺田 様（通訳：鈴木美恵子 様）



皆様にお会いして、ここでスピーチさせていただくことを大変光栄に思っております。一年間、福島にいましたが、その活動についてのお話をさせていただきます。

私は日系三世のアメリカ人で、祖父母は日本の熊本からハワイに移住しました。私は震災後の2011年6月にハワイのロータリアンたちとガバナー事務所(大橋パストガバナー 福島南RC)を初めて訪れ、当時の私は座間の米軍キャンプで勤務していたため、すぐに戻る必要があり、その時にいつか福島に戻ってくることを約束して福島を後にしました。どんな様子か確かめるために2018年に福島を訪れた時、福島の復興が進んで、皆さんが普通の生活に戻っていると知りました。世界の人々がいまだに福島が放射性物質のために危険であると信じていること、そして、彼らは震災後、福島が目覚ましい復興を成し遂げ、進歩していることを認識していないと知って驚きました。私はこの認識不足が、風評被害の根本的な理由であると考えます。

とにかく、風評被害を払拭するために自分は何をするかという計画を立てました。それから、情報を集めて記事を書き、メディアを使って情報を発信し、お話しをするという計画を立てました。マローニー会長が来た時にも福島の状況をお話ししました。2019年2月にハワイから福島に引っ越し、福島県内の様々な地域を訪れ、自分自身で情報を集め、多くの人に話を聞き、福島の現状や真実について調べました。そして、それを様々なメディアを通して発信しました。ハワイの日系人新聞に日本語の記事を掲載してもらったり、英語の記事を新聞や雑誌などに投稿したり、様々なところでスピーチを行いました。また、ハワイのテレビ局でのインタビュー(ユーチューブにアップ)や福島の民報社、TUF、ラジオ福島などでも、私の活動について発信していただきました。その中には、飯坂RCでご協力いただいた吾妻さんや安斎さんご夫妻から得た貴重な情報も含まれています。ロータリアンの皆さん及びメディアの方々、会社の方々、地元の方々とチームを組んで情報を集め発信するということが、とても私にとっては大切な事でした。また、放射線量をチェックするというのはとても大切で、海外から来た人たちは「どれくらいの放射線量なのか」「それは安全なのかどうか」というのが一番の質問だったので、その辺のところをきちっと抑えることにしました。そのために、地中間貯蔵施設の見学や大熊町や双葉町を訪れて、どんな様子なのか観察してまいりました。また、檜葉のロボット研究をしているフィールドや第一原発にも行って状況を見てまいりました。震災後の心の問題をケアしておるメンタルヘルスセンターを訪れたり、実際に山木屋でお米の放射線量をチェックしたりしました。いわきの漁業協同組合の方々や相馬でも観光や漁業についてお話をお聞きしました。猪苗代RCの皆さんともお会いして、観光についての影響などもの情報も集めました。また、吾妻さんには大変お世話になりました。マローニー会長がおいでになった時には、吾妻さんの果樹園の桃を美味しいと食べていらっしやいました。安斎さんのお宅にもお邪魔して、ご案内いただいたり、お話をお伺いしたり、大変ご協力をいただきました。ありがとうございました。



色々な分野の方々のお話をお聞きして、それぞれの分野に風評被害がどう影響しているのかについて調べ、記事を書きはじめましたが、これは日本原子力学会に論文が載ることになりました。ハワイに戻って、テレビ局でインタビューを受け、それが報道されまして、今はユーチューブで見ることができます。日系の方々のための新聞があり、そこに5つほど記事を書いています。また、ホノルルの大きな新聞社で英語と日本語の記事を掲載しました。調査から分かったことは、復興はかなり進んで、ある意味ではできるところまでやったが、日本を含めて世界の人たちもその状況を分かっていません。福島の現状をお話ししたり、事実を知らせる事がもっとも大切だと思います。

福島は東京から離れており、過去においても、現在においても、外国人が福島を訪れることは少なく、福島のことを知らないのです。また、海外の人は福島についての情報をメディアから得ていますが、そのメディアが世界に向けて十分に情報提供ができていなかったのです。そして、英語の情報も少なかったのです。したがって、正確なメディア報道が欠けていたことから、一般の人々が福島の現実を理解することが難しかったのです。私がこの一年間、色々な所に行って状況を観察したり、調査することによって、事実が明らかになるのだと思っております。これからは福島の現状を、日本中、世界中に広めていかなければいけないのではないかと、まだ課題は残っています。

東京夏季オリンピックは、福島についての世界的な認識を更新するための大規模でタイムリーな情報発信のための機会となると考えられます。私は福島の現状と真実について、多くの人々に伝えようと活動してきましたが、十分とは言えず、更なる活動が必要となります。オリンピックが始まる前に、自分たちから世界に対して、福島についての真実を様々なメディアによって、大規模に情報発信を行うべきだと考えます。来週、このミッションを終えてハワイに帰りますが、その後も活動を続けて情報を発信し、さらには、アメリカの大学院生を引率して、福島の見学と講義を依頼されているので、また来ることになると思います。ハワイでのインタビューもありますので、今後とも福島の真実、現状を世界に発信していきたいと思っております。

この一年の福島滞在中に、ロータリアンの皆様には多大なご協力とご支援をいただいたことに心から感謝いたします。今日はありがとうございました。